

「福島市デジタルくーぼん」とは？

今月十月号の市政だよりに案内が掲載される「福島市デジタルくーぼん」のことを少し早く説明したいと思います。

この場では「福島市デジタルくーぼん」を「福デジぼん」と表記します。

「福デジぼん」はスマートフォン（以後スマホ）を使って五千円で六千五百円分、又は一万円で一万二千円分使えるクーポン券を購入し、そのスマホで買物が出来る、前のエールクーポンの電子マネー版です。

十月中旬に福島市から市民一人一人に個別の「福デジぼん」の「購入用シリアルコード」が送られてきます。そのシリアルコードはスマホを持っていない市民にも送付されます。その際スマホを持たない方は同居家族や友人などのスマホにシリアルコードを入力して「福デジぼん」を購入することができるようです。仮に三人家族で一人しかスマホを持っていない場合でも、その一台のスマホで家族三人分の「福デジくーぼん」購入することが出来ます。

「福デジぼん」購入代金支払いはクレジットカードかコンビニ決済です。詳しい方法は十月中旬送付のシリアルコードに同封されると思います。

「福デジぼん」を使用ての商品購入の支払

いは「福デジぼん」購入のスマホで「福デジぼん」加盟店のレジのQRコードを読み込み支払い金額を自分（購入者）で入力し、店員さんが確認すれば支払いは完了のようです。

ハードルが高いと思われるかたはスーパーなどで「福デジぼん」購入支援サポートデスクが開設されるようですので訪れてみてください。開設は週4日×2日、2ヶ月間市内十

四会場開催の予定だそうです。

福島市の市公式LINEアカウントから「福デジぼん」を購入するのが福島市の推奨の方法です。

スマホでグーグルなどのインターネット検索窓に「福島市公式LINEアカウント」と入力し、開いた福島市のサイトの中から「友だち追加」を見つけて指でさわり性別、年代、通知項目などを入力してラインが繋がって福島市と友だちになると「福デジぼん」購入に道が開け、また少しうるさいですが何かと福島市とやりとりができるようになります。

また「福デジぼん」をライン経由で購入すると「お楽しみ抽選会」に参加できて地元産品（総額一千万円）プレゼントが当たる可能性があります。

野田町東町会と八田神社

今回は野田町の氏神である八田神社と東町会の関係を説明したいと思います。

八田神社は永仁五年（一二九七年）に創建され、以来この地の氏神を地域で運営してきました。

野田町町会が東、西部、南、北部、中央、野田町各町会に分離した際、南町会を除く五町会から原則氏子総代を各町会の会長が担ってきました。

当東町会は前の斎藤美雄会長が監査に就き、当時の二区長の篠木重雄さんが東町会の氏子総代として八田神社の運営に参加していました。現在は小林会長が監査を務め篠木さんの後任は小栗総務が就いています。

西部町会の皆川総代長以下十五名の総代が八田神社の運営を行っていますが、これは宗教行事ではなく、宮司が行う年四回の祭事であっても、初詣や官費で行う地鎮祭や菩提寺の住職を待む葬儀、またはクリスマスなどと同じしきたりや慣習と同じで教義を意識理解している総代はいません。

お寺は各家と繋がりがり神社は地域とつながっています。隣の三河町会や太田町の三町会、矢剣町会などは各氏神の祭事を仕切る祭事部長のポストを町会内に持っています。地理的に当東町会には三河稲荷神社に近く、特に祭太鼓の練習の音が聞こえると親近感が湧き、森合運動公園の南に位置する八田神社の存在を知らない会員も少なからずおられると思いますが、野田町東町会の会員は八田神社の氏子という事を分って頂きたいと思っています。